

令和4年度 第1回 山形市立図書館協議会 質問と回答

1 令和3年度の図書館事業について(報告) … 資料1、資料1別紙

質問・意見		回答等
1	<p>取組3-(4)レファレンスサービスの向上と充実</p> <p>学術的な問い合わせ、郷土に関すること、身近な事柄に関する調べものなどだけをレファレンスの件数に数えているのではないか。</p> <p>「この本ありますか」という本の所蔵についての相談も大切にしたい。</p>	<p>本の所蔵の確認等については通常の館内案内サービスの一つとしてレファレンス業務件数としてのカウントはしておりませんが、来館者の満足度を高めるため重要な基本的サービスですので、迅速かつ丁寧に対応してまいります。</p>
2	<p>取組3-(4)レファレンスサービスの向上と充実</p> <p>2021年に出された福井県立図書館の覚え違いタイトル集『100万回死んだねこ』では、図書館職員になんでも聞いてもらえる環境をつくっていることがわかる。</p> <p>県内の図書館職員による「図書館職員おすすめの本」はなかなか良い企画で、展示されている本も貸し出されている。</p> <p>そこで「覚え違いタイトル集」を県内の図書館に働きかけて集めて見てはどうか。</p>	<p>県内図書館職員の投票により選定する「山形県図書館大賞」の今年度のテーマは「不思議な話の本」に決定し、現在二次投票が進められていますが、次年度のテーマ案として「覚え違いタイトル集」を提案いたします。</p>
3	<p>取組3-(4)レファレンスサービスの向上と充実</p> <p>館内検索機OPACで検索しても求める本にヒットしないことがある。</p> <p>検索の仕方が悪い場合もあるので、「検索しても見つからない場合は職員に聞いてください」というような表示をしたらどうか。</p> <p>図書館職員と利用者がやりとりしながら求める資料を見つけ出す、探し出す。</p> <p>利用者が求める資料を提供するという図書館の機能を大切にしたい。</p>	<p>本図書館は、市民に親しまれる図書館を目指しており、ご指摘のとおり、このような案内があれば、職員に気楽に声をかけることができ、図書館としても必要な資料を提供できるものと思います。</p> <p>市民のニーズに適切なサービスを提供できるよう、すぐにでも対応してまいります。</p>

4	<p>取組 5－(3) 職場体験学習等の受け入れ</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、職場体験が出来なくなって3回目。</p> <p>このまま、毎年取りやめで良いのか疑問である。</p> <p>これまで、職場体験を受入れてきた図書館は体験プログラムが出来ていると思う。それを活用して「市立図書館体験プログラム」のビデオや動画を作れないか。</p> <p>職場体験がコロナで無理なら、中学生の期待に何か応えることが出来て支援出来るものはないか。</p>	<p>学校教育課によると、今年度5月の「中2はたらく体験推進事業」を希望した学校は計6校でした（内 図書館を希望したのは一中と山寺中）。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの蔓延により中止・延期になりました。</p> <p>その後7月に金井中の生徒が86事業所での体験活動を行い、10月には山寺中の生徒が図書館での体験活動を行う予定です。</p> <p>今後、体験プログラムの動画化を検討しつつ、学校教育課や各学校に図書館の職場体験受入プログラムの情報を提供してまいります。</p>
---	---	--

2 山形市立図書館本館の休館について … 資料2

質問・意見	回答等
なし	

3 令和4年度の図書館事業について … 資料3、資料3別紙

質問・意見	回答等
1	<p>取組 6－(2) 広報やまがた・市公式ホームページを通じた情報提供</p> <p>まだまだ山形市立図書館の存在を知らない人がいるように感じている。自分の周りでも、知っている人・行ったことがある人は少数だった。それがとても残念でならない。</p> <p>こんなにも趣のある素敵な山形市立図書館を広く市民の方々に知ってもらえるよう、周知活動をよろしくお願ひしたい。</p> <p>イベントなどをホームページやSNSに載せても興味のある人しか見てないような感じがするため、周知方法については課題があると思われる。</p>